

上 武 大 学  
経営情報学部紀要

第 33 号

---

目 次

〈論 文〉

1. 現代日本経済における長期資産デフレについて ..... 松 崎 昇 (1)
2. 家族への殺意における青年期の心理的特徴  
－ 姉に殺意を抱く男子青年Aの場合 － ..... 宮 野 祥 雄 (39)
3. ベトナムにおけるオフショア開発と人材育成 ..... 白 井 晴 男 (63)

〈研究ノート〉

4. 供給者誘発という観点から見た医療需要測定に関しての一考察 ..... 佐 藤 宏 (81)
  5. P.F.ドラッカーと日本の経営  
－ P.F.ドラッカー生誕100年にあたって － ..... 谷 崎 敏 昭 (93)
- 

2009年3月

上 武 大 学 経 営 情 報 学 部

# 上武大学経営情報学部紀要規程

## 上武大学経営情報学部紀要規程

### (編集及び発行)

第1条 上武大学経営情報学部（以下「本学部」という。）は本学部に所属する教員相互の、及び他の教育研究機関との学術研究の推進及び交流を図るため、上武大学経営情報学部長を編集兼発行人として、上武大学経営情報学部紀要（以下「紀要」という。）を編集し、発行する。

### (担当)

第2条 本学部の図書委員会は、紀要に関することを審議する。

2 本学部の図書委員は、紀要の編集業務を処理する。

3 本学部の図書委員長は、編集主査として、紀要の編集業務を管理する。

### (査読)

第3条 紀要への投稿原稿は、編集主査が委嘱した査読者の審査を経て、編集主査が掲載の可否を決定する。

### (委嘱)

第4条 紀要の編集及び発行に関する業務は、上武大学附属図書館分館司書室に委嘱する。

### (雑則)

第5条 この規程に定めるもののほか、紀要の編集及び発行に関して必要な事項は、別に定める。

### 附 則

この規程は、平成14年4月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成19年7月1日から施行する。

### 附 則

この規程は、平成20年7月1日から施行する。

## 「上武大学経営情報学部紀要」投稿・執筆要綱

### 1. 投稿資格

上武大学経営情報学部専任教員又は編集主査の認めた者とする。

### 2. 募集原稿

論文、研究ノート、調査資料、翻訳、書評その他編集主査が認めたものとする。

### 3. 使用言語

原稿本文は、和文又は欧文とする。

### 4. 原稿の枚数

原則として自由であるが、編集上支障がある場合は、投稿者は編集主査の決定に従う。

### 5. 原稿の提出

投稿者は「12. 執筆要綱」に従って作成した完成原稿3部を原稿募集期間中に上武大学附属図書館分館司書室に提出する。

### 6. 投稿原稿の掲載

投稿原稿は、編集主査が委嘱した査読者による審査を経て、編集主査が掲載の可否を決定する。

### 7. 印刷の体裁

1ページ（B5版）につき、横書きの場合は40字×33行、縦書きの場合は28字×23行（2段組）とする。

### 8. 校正

校正は、主として印刷上の誤りや不備の訂正とし、大幅の書き換えや内容の変更は避ける。また、著者による校正は原則として1回のみとし、3校を限度とする。

### 9. 別刷り

投稿者が実費を負担する。

## 10. 原稿の電子化

国立情報学研究所は、上武大学経営情報学部からの申請に基づき、本紀要に掲載された原稿の一部又は全部を電子的に蓄積し、同研究所が行う情報提供サービスにより公開することができる。公開された内容について及び当該サービスの利用者が公開された内容を利用した結果について、上武大学経営情報学部は一切その責任を負わない。

## 11. 電子化の許諾

投稿原稿の著者は、当該原稿の著作権者として、投稿に際し、前項について同意するものとする。特別な事情により前項前段について同意することが困難な場合は、著者と上武大学経営情報学部との間で協議の上措置する。

## 12. 執筆要綱

### (1) 原稿用紙

手書きの場合は原則として、横書き、縦書きとも200字又は400字詰め原稿用紙を用いる。

ワープロを使用する場合は、A4版ワープロ用紙に十分な余白と行間（ダブルスペース）をとって印字する。

### (2) 書体・字体・仮名遣い

固有名詞・引用文を除き、楷書・新字体・新仮名遣いを用いる。

### (3) 符号

句読点（、．、。）・中点（・）・括弧（「」（）〔〕）・疑問符（？）・感嘆符（！）・ハイフン（-）・コロン（：）等の符号には、いずれも1字分をとる。なお、和文の場合、読点にはテン（、）を、句点にはマル（。）を用いることとする。ただし、和文中であっても、横書き欧文フレーズ中の句読点は欧文符号を用いることとする。

### (4) 数字

数字は、原則としてアラビア数字を用い、数字が複数続く場合は1字分に数字2字を入れる（3種類、1997年、1.5倍など）。ただし、熟語や固有名詞等、一般的に漢数字が使われる場合は、それを用いる（一部分、二酸化炭素、八十八夜など）。

### (5) 表紙

表紙には、論文、研究ノート等の種別、表題、著者名を明記する。和文原稿には、和文

表題・和文著者名の他に欧文表題・欧文著者名を、欧文原稿には欧文表題・欧文著者名の他に和文表題・和文著者名をそれぞれ付記する。

#### (6) 表題の語の頭文字

欧文表題中の冠詞 (a、an、the)、前置詞 (at、in、of、on、to等)、等位接続詞 (and、but、or、nor等)、不定詞のtoの頭文字は小文字 (先頭語の場合を除く。) とし、その他の語の頭文字はすべて大文字とする。

表題を本題と副題で構成する場合は、本題の後にコロン (:) を付けて副題を続ける。副題の語の頭文字の表記も本題と同様である。

#### (7) 図・表

図と表は1枚ずつ別紙に作成し、それぞれに通し番号と表題を付ける。さらに、本文原稿の右余白部に、各図・表の挿入位置がわかるように図・表番号を記入する。

また、正確を期すため、印刷時の各図・表の位置と大きさを指定する (刷り上がりの大きさが6×6cmの図・表は、本文原稿の18字×10行に相当)。

#### (8) 注

注は、本文の当該箇所の右肩に括弧付きの通し番号を付け、章末や本文末尾に対応する注釈を番号順に列記する。

#### (9) 文献

原則として本文の文中では、著者 (編者) 名の後に括弧付きで発表年を記し、文末では括弧中に著者名、発表年を併記する。／例：田中 (1995) によれば…。 …という説もある (鈴木・佐藤、1996)。

本文の末尾には、著者 (編者) 名の五十音順、アルファベット順などに従って文献を列記する。原則として1文献につき、著者 (編者) 名、文献名、発行年数、雑誌 (収録書籍) 名、巻数、号数、掲載ページ範囲を記す。

その他の文献の細則は、専門分野により異なるため、関係学会誌の慣例に従うこととする。

執筆者紹介（論文掲載順）

松 崎 昇（日本経済論）

宮 野 祥 雄（青年心理学）

白 井 晴 男（経営情報論）

佐 藤 宏（経済理論）

谷 崎 敏 昭（経営学）

上武大学経営情報学部紀要

第33号

2009年3月10日 印刷

Printed in Japan

2009年3月16日 発行

編集兼 栗 原 信 征  
発行人

編集主査 松 崎 昇

発行所 上武大学経営情報学部  
〒370-1393 群馬県高崎市新町270-1  
TEL. 0274-42-2828

印 刷 宏義印刷株式会社  
〒372-0004 伊勢崎市堤下町74-2  
TEL. 0270-25-0180

ISSN 0915 - 5929

# **BULLETIN OF FACULTY OF MANAGEMENT INFORMATION SCIENCES JOBU UNIVERSITY**

Number 33

March 2009

---

## **Contents**

### **〈Papers〉**

1. On the Long Stock Deflation in the Modern Japanese Economy … MATSUZAKI Noboru ( 1 )
2. Psychological Characteristics in Adolescence and Murderous Intent against the Family:  
A Young Man Harbors Murderous Intent against His Elder Sister …… MIYANO Sachio (39)
3. Offshore Development and Professional Training in Vietnam …………… SHIRAI Haruo (63)

### **〈Note〉**

4. One Consideration About the Medical Demand Measurement from  
the Viewpoint of the Supplier Induction …………… SATO Hiroshi (81)
  5. P.F.Drucker's View of Japanese Management:  
The One Hundred Anniversary of P.F.Drucker's Birth …………… TANIZAKI Toshiaki (93)
- 

**Published by  
Faculty of Management Information Sciences  
Jobu University**